

平成 27 年度九州地区国立大学法人等技術職員スキルアップ研修 B 報告

生産技術系
種田 哲也、井崎 丈

1. 研修期間

平成 27 年 9 月 9 日(水)～9 月 11 日(金)

2. 研修会場

国立大学法人九州大学

3. 研修目的

この研修は、九州地区における国立大学法人等の教室系の技術職員に対して、その職務遂行に必要な技術的資質の向上を図ることを目的とする。

4. 研修内容

- 9 月 9 日： 講演「職場の事故防止について」
講演「宿主と腸内細菌：生存のせめぎ合いで生まれる共生関係」
- 9 月 10 日： 講義・実習「大学キャンパス整備と土木技術」
講義・実習「建築構造分野における載荷実験の実際」
- 9 月 11 日： 講演「近年の学生の抱える諸問題と対応の工夫」
講演「カオス入門」

5. 研修報告

生産技術系 種田 哲也

本研修は 3 日間の日程で行われ、全教室系技術職員対象の講演と専門分野別対象の講義・実習を受講した。講演では事故防止の取り組み方や危険を防止するための環境確保、学生相談員による学生の接し方やメンタリティの解説等、教育機関特有の安全衛生について学んだ。講義・実習では、大型載荷試験装置の合理的手法を用いた実際の設計や学内の施設見学を行った。特に施設見学では、大学移転計画の規模の大きさ、最先端の設備に圧倒させられた。また、研修期間中に情報交換から得られた他の技術部組織の情報は大変貴重で、学べることが多く勉強になった。この研修を今後の業務に活かしていきたい。

生産技術系 井崎 丈

研修 2 日目の分野別講習・実習では、九州大学伊都キャンパスの新設にあたって用いられた様々な土木技術についての紹介を受けた。最終的には東西約 4 km という広大な土地を開発する予定であるにも関わらず、森林面積を減らさず、地下水位を保ち、生態系を崩さず、施工中の通行規制を最小限に留め、そのうえで九州大学全体のシンボル性まで創出しているのだから驚きを隠せなかった。

また、職場の安全管理や学生への接し方など、仕事上で気を付けなければならないことについても学ぶことができたことに加え、他大学や鹿児島大学の別学科の技術職員との交流を深め、様々なお話を聞かせていただき、非常にためになる研修だった。